

お客様・お取引先様とのかかわり



社会的要請

- 製品品質・経営品質の重要性
- 社会インフラにおける安全安心ニーズの広がり
- 省エネ政策推進に向けた法制化

FDKのアプローチ

- 様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給する「スマートエナジーパートナー」として、お客様にサービス・価値を提供

お客様・お取引先様とのかかわりのハイライト

各種展示会への出展件数 8 件	エネルギー効率改善に寄与する製品の開発件数 4 件	資源効率改善に寄与する製品の開発件数 3 件	ISO9001 認証生産拠点数 9 拠点
IATF16949 認証生産拠点数 3 拠点	品質保証統括部による事業部間ミーティング実施回数 16 回	経営トップ参加の現場改善活動報告会回数 21 回	品質保証レビュー実施件数 500 件

お客様・お取引先様とのかかわりを支える取り組み

FDKグループはこれからも様々な環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、「先端技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献する」「スマートエナジーパートナー」として、お客様にご満足いただけ、信頼をおいていただけるようサービス・価値を提供してまいります。

様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給

基本的な考え方

FDKグループは、高品質で安全な環境にやさしい、お客様にご満足いただける電池、電子製品を継続的に開発・供給するという考え方のもと、市場ニーズに応え社会課題の解決に貢献する製品開発、供給、品質保証体制の構築、グリーン調達を推進に努めています。

FDKグループの取り組み

環境法や環境上の規範を遵守し、地球にやさしい素材を活かした電池、電子製品を提供し続けることで、未来を育む企業としての価値の向上を進めています。その一環として、これまで蓄積されてきた差別化技術を用い、そこから生み出される新たな付加価値が提供できる製品の開発に取り組んでいます。

特色のある差別化技術がもたらす「安心の提供」、「環境への責任」

FDKは電池と電子製品の技術を併せ持つ世界的にもユニークな企業グループです。

そうした特色が活かされた差別化技術は、一例として電池、電子製品でお互いの長所を融合した技術で蓄電システム製品を生み出しました。

お客様や市場が求める地球環境に配慮した製品を常に供給し続けることを心掛け、製品開発に取り組んでいます。

2018年度におけるお客様へのご紹介

FDKは、国内では二次電池・蓄電池の製造・開発に関する世界最大の展示会「バッテリージャパン」、電子部品技術展の「TECHNO-FRONTIER 2018」、最新のウェアラブルに関して出展される「ウェアラブルEXPO」など、また海外でも3件の展示会に出展し、FDKグループの電池、電子製品の技術、製品をご紹介するなど、FDKグループの技術力や社会課題の解決に貢献する製品やソリューションをアピールしました。

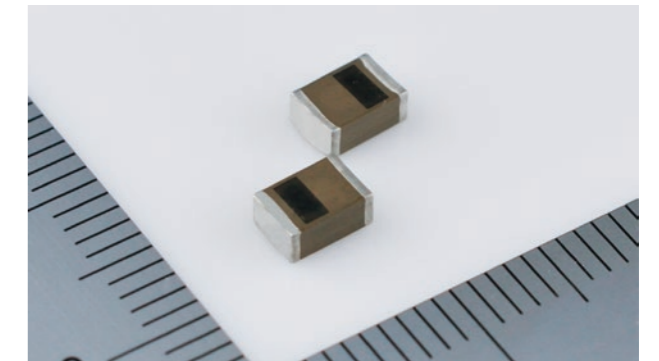


バッテリージャパン

次世代へ向けた製品開発

▶ 高エネルギー密度を有するSMD対応小型全固体電池のサンプル提供を開始

材料がすべて固体のため液漏れがなく、主に可燃性の有機系材料を使用している既存のリチウムイオン電池と比較し、高い安全性を有する全固体電池の開発を行ないサンプルの提供を開始、2019年5月には高容量化品の開発も発表しました。FDKの保有する電池技術と電子技術を融合した世界最高水準(*2019.5月時点FDK調べ)の製品です。



全固体電池サンプル写真

2018年度の目標と実績

製品

- 市場ニーズに応える価値ある製品を成長期待の大きなインダストリアル市場に向け継続的投入
- 電池・電子の保有技術を利用し、市場ニーズに応える製品を市場投入
- 高特性と高品質を併せ持つ新磁性材料の開発と製品展開
- 大型システム電源技術の応用により高付加価値化を図った電源関連製品の積極的投入

取り組み

- 市場リサーチの強化を進め、お客様や市場の動向を迅速に探知し、ニーズに即した技術開発提案の実現
- お客様や市場の期待を超えた営業活動による信頼関係の強化
- BCPにもとづく継続的改善を行ない、様々なリスク発生時での早期復旧を実行

製品

- ニッケル水素電池
家電市場向けコストダウンモデルの開発、供給に加え、車載、防災/セキュリティや、バックアップ電源などのインフラ市場向けにお客様のご要望や環境課題に対応した製品の開発、量産化に努めました。
- アルカリ乾電池
耐漏液性能や長期保存性能を改善した、より安全安心な製品やコストダウンモデルの開発に向けた材料開発を進めました。また、環境に配慮したパッケージを開発し出荷を開始しました。
- リチウム電池
国内外のスマートメータ向け製品の開発をスケジュールに沿って進めました。またカード、ウェアラブル市場向け薄形二次電池の開発を進め、バッテリージャパンに参考出展しました。

電子製品

- お客様の消費電力の低減に貢献するフェライト、コイルデバイス、積層パワーインダクタなどの開発を進めました。またお客様の製品の小型軽量化に貢献する各種モジュール製品の開発や株主総会の会場で用いるセンサーデバイスの量産出荷なども行ないました。
- 研究開発
高い安全性を有するSMD対応小型全固体電池の開発とサンプル出荷を実現し、お客様や社会の課題解決に貢献する次世代電池の量産化に向けた取り組みを進めました。また社会インフラでの活躍が将来的に期待される水素/空気二次電池の開発に向けた取り組みを開始しました。

取り組み

- マーケティングの強化を進め、お客様や市場の動向を迅速に探知し、ニーズに即した技術開発提案の実現に向け、組織体制を見直し、また、構築したBCMの運用を今年度も継続しました。

これらの取り組みの結果、2018年度はエネルギー効率改善に寄与する製品を4件、資源効率改善に寄与する製品を3件開発しました。

品質や安全に配慮した開発と品質保証

FDKグループ品質憲章

品質方針 「お客様の信頼に応える品質の提供」
FDKグループは、FDK企業行動指針および富士通グループとして共通する理念・指針であるFUJITSU Wayの企業理念にもとづき、事業活動のあらゆる面において製品・サービスにおける品質・安全確保の努力を継続し、お客様・社会とともに豊かな未来を創造していくことで、企業価値の向上に努めます。

▶ 1. 品質・安全指針

FDKグループは、以下の7つの指針に則り、製品・サービスの品質・安全(以下あわせて、品質という)を限りなく追求し、実現していきます。

1) お客様起点での品質追求

お客様のパートナーとして、お客様に安全・安心にご利用いただくための製品・サービスの品質を継続的に生み出していきます。

2) 変化を先取りした品質づくり

お客様を取り巻く環境変化を先取りし、美しさ、使いやすさ、分かりやすさなどを含めた幅広い品質を追求していきます。

3) 社会的責任を果たす品質の確保

国内外の品質に関する諸法令で定められた基準に加え、自主基準を整備し、遵守することにより、お客様へ安全・安心にご利用いただける製品・サービスを提供します。

4) 三現主義(現場、現物、現実)による継続的改善

製品・サービスの品質情報やお客様の声などを積極的に収集・把握・分析し、製品・サービスの品質を継続的に改善します。

5) ビジネスパートナーと連携した品質向上

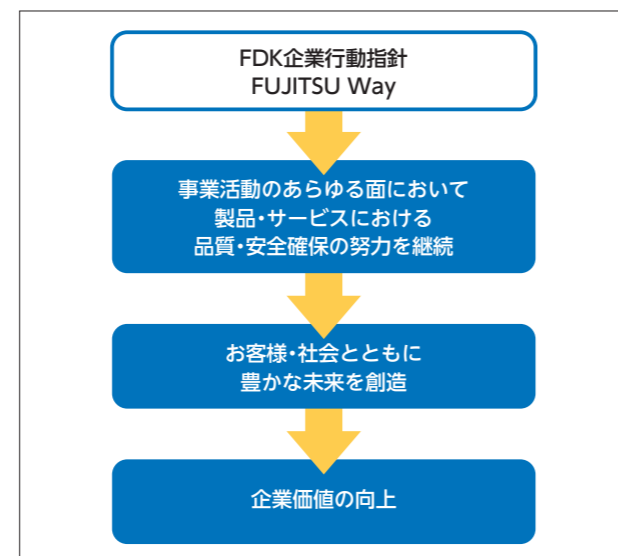
ビジネスパートナーと品質の考え方を共有し、信頼関係を培って品質向上に取り組んでいきます。

6) 品質情報の公開と対応

お客様が製品・サービスを安全・安心にご利用いただけるよう、迅速かつ適切に必要な品質情報を公開し対応します。

7) 品質を考える人づくり

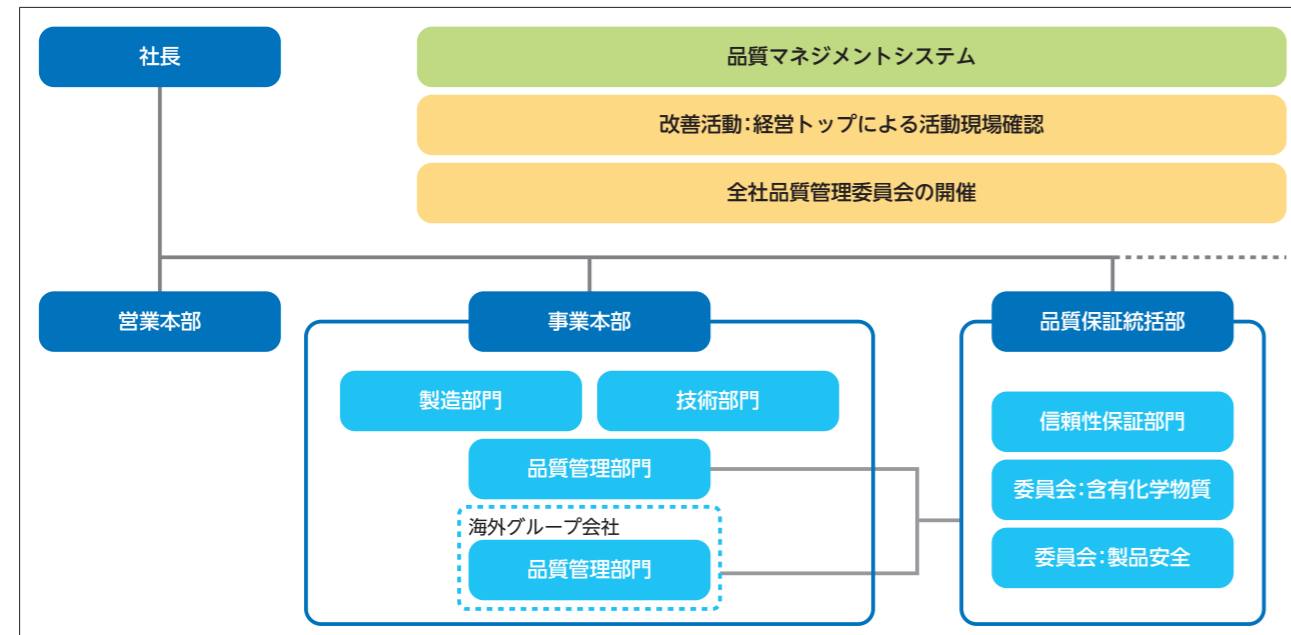
品質意識の高揚や品質技術の向上に努め、常に品質を考えて行動する人材を育成します。



▶ 2. 品質保証体制

FDKグループは、品質・安全指針を実践するための品質保証体制を構築し、品質保証活動に継続的に取り組みます。

■ 品質保証体制図



▶ 3. ISO9001/IATF16949 認証取得状況

FDKは、品質マネジメントシステム(QMS:Quality Management System)のもとで継続的なプロセス改善に取り組んでおり、2019年5月現在、海外を含めた全9拠点でISO9001認証を取得し、うち3拠点でIATF16949認証を取得しています。

▶ 4. 品質保証の取り組み

① 品質保証体制

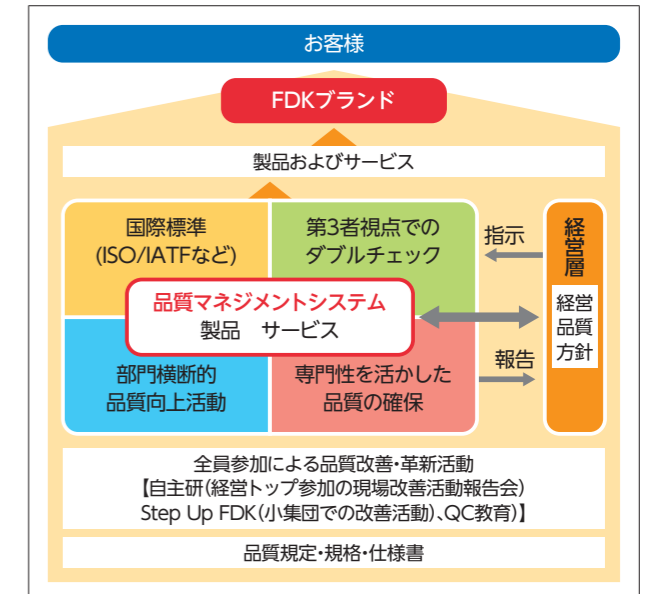
お客様が要求する機能・性能・その他の内容を満足する製品・サービスの品質を提供するためには、経営層と様々な部門が連携し企業活動の全段階にわたり、全員参加活動が必要です。このため組織が一体となる体制や仕組みが無いと継続して活動ができません。

FDKでは、3項に記載のようなQMSを構築・運用しており、製品企画から製造・出荷・アフターサービスに至るまでの各ステップで、お客様にご満足いただける品質を実現し保証していきます。これらQMSの運用においては、PDCA(Plan Do Check Action)のマネジメントサイクルを回し、より良い品質を目指し、継続的改善を図っています。

② 品質保証の推進体制

FDKは多岐にわたる製品群、海外を含めた各事業拠点の品質保証活動における連携活動にも取り組んでいます。品質保証統括部では、その活動を牽引すべく全事業部との定期的な打合せによる情報共有、品質方針策定、コンプライアンスに関わる問題や品質トラブル発生時のエスカレーション、人材育成のための教育、不具合事例やノウハウなどに対する水平展開に積極的に取り組んでいます。また経営トップ主催による「全社品質管理委員会」を設け、製品枠を超えて経営面からのアプローチも図っています。

■ 品質保証の枠組み



品質保証強化への取り組みの改善プロセス

▶ 1. 客観的な視点による製品・サービスの品質保証活動

品質方針であるお客様の信頼に応える品質を提供するために、企画から量産移管に至る各検証プロセスにおいて、品質関連規定や細則にもとづき自部門だけでなく関係部門を交えた広い知見でレビューを実施し、より客観的な検証を強化しています。品質保証活動ステップの代表としてのデザインレビューによる検証は年間約500件です。

▶ 2. グリーン調達への取り組み

FDKグループは、環境負荷を考慮した事業活動と環境配慮製品の提供により持続可能な社会の発展に貢献しています。「FDKグループ グリーン調達基準」にもとづいた環境配慮製品の調達品の使用を通じて、お客様へ環境配慮製品を提供しています。

■ 品質保証の各検証プロセス図

